

1) 新規採用医薬品

なし

2) 仮採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
パルモディア XR 錠 0.2mg (ペマフィブラート) フィブラート系高脂血症治療剤 薬価:60.00 円/1 錠 興和	<効能効果>高脂血症(家族性を含む) <用法用量>通常、成人には1回0.2mgを1日1回経口投与する。ただし、トリグリセライド高値の程度により、1回0.4mgを1日1回まで増量できる。 <患者説明文>高脂血症のお薬です。血液中の中性脂肪を減らします。	
コミナティ筋注シリンジ 12歳以上用 (ラクストジナメラン) コロナウイルス(SARS-CoV-2)RNA ワクチン ファイザー	<効能効果>SARS-CoV-2による感染症の予防 <用法用量>1回0.3mLを筋肉内に接種する。	

3) 剤型・規格 変更/追加 医薬品

剤型変更追加・メーカー変更薬	既採用薬	備考
メプチンミニ錠 25 μ g	メプチン錠 50 μ g	

4) メーカー変更医薬品・後発品変更医薬品

医薬品名	既採用薬	備考
ポビドンヨード消毒液 10%「ケンエー」	ポビドンヨード外用液 10%「VTRS」	※製造中止
ポリフル細粒 83.3%	コロネル細粒 83.3%	※製造中止
ヘパフラッシュ 100 単位/mL シリンジ 10mL	ヘパリン Na ロック用 100 単位/mL シリンジ「オーツカ」10mL	※供給制限
ストレプトマイシン硫酸塩注射用 1g「明治」	硫酸ストレプトマイシン注射用 1g「明治」	※経過措置
スガマデクス静注液 200mg「マルイシ」	ブリディオオン静注 200mg	
ロクロニウム臭化物静注液 50mg/5.0mL「マルイシ」	エスラックス静注 50mg/5.0mL	
イリノテカン塩酸塩点滴静注液 40mg「NK」	イリノテカン塩酸塩点滴静注液 40mg「SUN」	
イリノテカン塩酸塩点滴静注液 100mg「NK」	イリノテカン塩酸塩点滴静注液 100mg「SUN」	
ドセタキセル点滴静注 20mg/1mL「ニプロ」	ドセタキセル点滴静注 20mg/1mL「ヤクルト」	
ドセタキセル点滴静注 80mg/4mL「ニプロ」	ドセタキセル点滴静注 80mg/4mL「ヤクルト」	
エスワンタイホウ配合 OD 錠 T20	ティーエスワン配合 OD 錠 T20	
エスワンタイホウ配合 OD 錠 T25	ティーエスワン配合 OD 錠 T25	
デュタステリド錠 0.5mgAV「NS」	アボルブカプセル 0.5mg	
スピロラクトン錠 25mg「日医工」	アルダクトン A 錠 25mg	
トルバプタン OD 錠 7.5mg「オーツカ」	サムスカ OD 錠 7.5mg	

トアラセット配合錠「三笠」	トラムセット配合錠	
ポラブレジン OD 錠 75mg「サワイ」	プロマック D 錠 75	
エナラプリルマレイン酸塩錠 2.5mg「サワイ」	レニベース錠 2.5	
エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg「サワイ」	レニベース錠 5	
プロチゾラム OD 錠 0.25mg「テバ」	レンドルミン D 錠 0.25mg	
ロキソプロフェンナトリウム錠 60mg「日医工」	ロキソニン錠 60mg	
ヘパリン類似物質油性クリーム 0.3%「日医工」	ヒルドイドソフト軟膏 0.3%	
ヘパリン類似物質ローション 0.3%「日医工」	ヒルドイドローション 0.3%	

5) 院外限定採用医薬品 (剤型追加)

医薬品名	効能・効果	用法・用量
ロサーゼット配合錠 HD (エゼチミブ・ロスバスタチンカルシウム配合剤) 小腸コレステロールトランスポーター阻害剤/スタチン配合剤 薬価:75.30 円/1 錠 オルガン	<効能効果>高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症 <用法用量>通常、成人には1日1回1錠(エゼチミブ/ロスバスタチンとして10mg/5mg)を食後に経口投与する。	
パルモディア XR 錠 0.4mg (ペマフィブラート) フィブラート系高脂血症治療剤 薬価:111.00 円/1 錠 興和	<効能効果>高脂血症(家族性を含む) <用法用量>通常、成人には1回0.2mgを1日1回経口投与する。ただし、トリグリセライド高値の程度により、1回0.4mgを1日1回まで増量できる。	
カバサール錠 0.25mg (日局カベルゴリン) ドパミン作動薬 薬価:41.20 円/1 錠 ファイザー	<効能効果・用法用量>●パーキンソン病:通常、成人には1日量0.25mgから始め、2週目には1日量を0.5mgとし、以後経過を観察しながら、1週間毎に1日量として0.5mgずつ増量し、維持量を定めるが、最高用量は1日3mgとする。いずれの投与量の場合も1日1回朝食後経口投与する。●乳汁漏出症、高プロラクチン血性排卵障害、高プロラクチン血性下垂体腺腫(外科的処置を必要としない場合に限る):通常、成人には1週1回(同一曜日)就寝前経口投与とし、1回量0.25mgから始め、以後臨床症状を観察しながら、少なくとも2週間以上の間隔で1回量を0.25mgずつ増量し、維持量(標準1回量0.25~0.75mg)を定める。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1回量の上限は1.0mgとする。●産褥性乳汁分泌抑制:通常、成人には1.0mgを胎児娩出後に1回のみ食後に経口投与する。●生殖補助医療に伴う卵巣過剰刺激症候群の発症抑制:通常、カベルゴリンとして1日1回0.5mgを最終的な卵胞成熟の誘発日又は採卵日から7~8日間、就寝前に経口投与する。	

医薬品名	備考
パルモディア錠 0.1mg	採用薬からの切り替え
サムスカ OD 錠 7.5mg	
ボルタレン錠 25mg	
ボルタレン SR カプセル 37.5mg	
ポリフル錠 500mg	
スピリーバ吸入用カプセル 18 μg	
オキサロール軟膏 25 μg/g	

6) 患者限定採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
<p>ピトレシン注射液 20 (合成バソプレシン) 脳下垂体後葉ホルモン剤 薬価:551/1 筒 ファイザー</p>	<p><効能効果>下垂体性尿崩症、下垂体性又は腎性尿崩症の鑑別診断、腸内ガスの除去(鼓腸、胆のう撮影の前処置、腎盂撮影の前処置)、食道静脈瘤出血の緊急処置 <用法用量>●下垂体性尿崩症:通常、成人には1回2~10単位を必要に応じて1日2~3回皮下又は筋肉内注射する。なお、年齢、症状に応じ適宜増減する。●下垂体性又は腎性尿崩症の鑑別診断:通常、成人には5~10単位を皮下又は筋肉内注射するか、0.1単位を静脈内注射し、その後尿量の減少が著しく、かつ尿比重が1.010以上にまで上昇すれば、バソプレシン反応性尿崩症が考えられる。なお、年齢、症状に応じ適宜増減する。●腸内ガスの除去(鼓腸、胆のう撮影の前処置、腎盂撮影の前処置):通常、成人には5~10単位を皮下又は筋肉内注射する。なお、年齢、症状に応じ適宜増減する。●食道静脈瘤出血の緊急処置:通常、成人には20単位を5%ブドウ糖液など100~200mLに混和し、0.1~0.4単位/分の注入速度で持続的に静脈内注射する。なお、年齢、症状に応じ適宜増減する。</p>	
<p>ヒト CRH 静注用 100 μg「ニプロ」 (コルチコレリン(ヒト)) 視床下部・下垂体・副腎皮質系ホルモン分泌機能検査薬 薬価:16,388 円/1 瓶 ニプロ</p>	<p><効能効果>視床下部・下垂体・副腎皮質系ホルモン分泌機能検査 <用法用量>本剤を生理食塩液 1mL に溶解し、成人には 100 μg を、小児には体重 1kg あたり 1.5 μg を早朝空腹時、静脈内に 30 秒程度かけて徐々に注射する。</p>	
<p>デノパミン錠 5mg「日医工」 (デノパミン) カテコラミン系心機能改善剤 薬価:11.30 円/1 錠 日医工</p>	<p><効能効果>慢性心不全 <用法用量>通常成人 1 日量 15~30mg を 3 回に分けて経口投与する。年齢、症状により適宜増減する。ただし、多くの場合、他剤(ジギタリス、利尿剤、血管拡張剤等)と併用する。 ※内科</p>	
<p>ブルフェン錠 100 (日局イブプロフェン) 抗炎症・鎮痛・解熱剤 薬価:5.90 円/1 錠 科研製薬</p>	<p><効能効果・用法用量>●下記疾患並びに症状の消炎・鎮痛:関節リウマチ、関節痛及び関節炎、神経痛及び神経炎、背腰痛、頸腕症候群、子宮付属器炎、月経困難症、紅斑(結節性紅斑、多形滲出性紅斑、遠心性環状紅斑):通常、成人は1日量600mgを3回に分けて経口投与する。小児は、5~7歳 1日量200~300mg、8~10歳 1日量300~400mg、11~15歳 1日量400~600mgを3回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。●手術並びに外傷後の消炎・鎮痛:通常、成人は1日量600mgを3回に分けて経口投与する。小児は、5~7歳 1日量200~300mg、8~10歳 1日量300~400mg、11~15歳 1日量400~600mgを3回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。●下記疾患の解熱・鎮痛:急性上気道炎(急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む):通常、成人には1回量200mgを頓用する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、原則として1日2回までとし、1日最大600mgを限度とする。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。</p>	
<p>リプル注 10 μg (日局アルプロスタジル) プロスタグランジン E1 製剤 薬価:1,647 円/1 筒 田辺三菱製薬</p>	<p><効能効果・用法用量>●慢性動脈閉塞症(バージャー病、閉塞性動脈硬化症)における四肢潰瘍ならびに安静時疼痛の改善:通常、成人1日1回1~2mL(5~10 μg)をそのまま又は輸液に混和して緩徐に静注、又は点滴静注する。なお、症状により適宜増減する。●下記疾患における皮膚潰瘍の改善:進行性全身性硬化症、全身性エリテマトーデス:通常、成人1日1回1~2mL(5~10 μg)をそのまま又は輸液に混和して緩徐に静注、又は点滴静注する。なお、症状により適宜増減する。●糖尿病における皮膚潰瘍の改善:通常、成人1日1回1~2mL(5~10 μg)をそのまま又は輸液に混和して緩徐に静注、又は点滴静注する。なお、症状により適宜増減する。●振動病における末梢血行障害に伴う自覚症状の改善ならびに末梢循環・神経・運動機能障害の回復:通常、成人1日1回1~2</p>	

	mL (5~10 μg)をそのまま又は輸液に混和して緩徐に静注、又は点滴静注する。なお、症状により適宜増減する。●動脈管依存性先天性心疾患における動脈管の開存:輸液に混和し、開始時アルプロスタジル 5ng/kg/min として持続静注し、その後は症状に応じて適宜増減して有効最小量とする。●経上腸間膜動脈性門脈造影における造影能の改善:通常、成人には1回 1mL(5 μg)を生理食塩液で 10mL に希釈し、造影剤注入 30 秒前に 3~5 秒間で経カテーテル的に上腸間膜動脈内に投与する。
イベニティ皮下注 105mg シリンジ (ロモソズマブ(遺伝子組換え)) ヒト化抗スクロスチンモノクローナル抗体製剤 薬価:25,061 円/1 本 アステラス製薬	<効能効果>骨折の危険性の高い骨粗鬆症 <用法用量>通常、成人には 210mg を 1 ヶ月に 1 回、12 ヶ月皮下投与する。
ソートラム錠 50mg (トラマドール塩酸塩) 慢性疼痛・がん疼痛 持続性鎮痛剤 薬価:51.70 円/1 錠 日本臓器製薬	<効能効果>非オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記における鎮痛:慢性疼痛、疼痛を伴う各種がん <用法用量>通常、成人には 1 日 100~300mg を 2 回に分けて経口投与する。なお、症状に応じて適宜増減する。ただし 1 回 200mg、1 日 400mg を超えないこととする。
ハイパジールコーワ錠 3 (ニブラジロール) 非選択性 β 遮断薬 薬価:25.20 円/1 錠 興和	<効能効果>本態性高血圧症(軽症~中等症)、狭心症 <用法用量>通常成人には、1 日 6~12mg を 1 日 2 回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、最高用量は 1 日 18mg とする。
トレドミン錠 25mg (ミルナシبران塩酸塩) セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤(SNRI) 薬価:14.80 円/1 錠 旭化成ファーマ	<効能効果>うつ病・うつ状態 <用法用量>通常、成人には、1 日 25mg を初期用量とし、1 日 100mg まで漸増し、1 日 2~3 回に分けて食後に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、高齢者には、1 日 25mg を初期用量とし、1 日 60mg まで漸増し、1 日 2~3 回に分けて食後に経口投与する。
メキシチールカプセル 50mg (メキシレチン塩酸塩) 不整脈用薬 薬価:9.70 円/1C 太陽ファルマ	<効能効果・用法用量>●頻脈性不整脈(心室性):通常、成人にはメキシレチン塩酸塩として、1 日 300mg より投与をはじめ、効果が不十分な場合は 450mg まで増量し、1 日 3 回に分割し食後に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。●糖尿病性神経障害に伴う自覚症状(自発痛、しびれ感)の改善:通常、成人にはメキシレチン塩酸塩として、1 日 300mg を 1 日 3 回に分割し食後に経口投与する。 ※他院継続
ベガモックス点眼液 0.5% (モキシフロキサシン塩酸塩) 広範囲抗菌点眼剤 薬価:65.40 円/1mL ノバルティス	<適応菌種> 本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、マイクロкокカス属、モラクセラ属、コリネバクテリウム属、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、インフルエンザ菌、シュードモナス属、バークホルデリア・セパシア、ステナトロホモナス(ザントモナス)・マルトフィリア、アシネトバクター属、アクネ菌 <適応症・用法用量>●眼瞼炎、涙嚢炎、麦粒腫、結膜炎、瞼板腺炎、角膜炎(角膜潰瘍を含む):通常、1 回 1 滴、1 日 3 回点眼する。なお、症状により適宜増減する。●眼科周術期の無菌化療法:通常、手術前は 1 回 1 滴、1 日 5 回、手術後は 1 回 1 滴、1 日 3 回点眼する。 ※他院継続

医薬品名	備考
アンペック坐剤 10mg	採用薬からの切り替え

7) 削除医薬品

医薬品名	備考
メプチン錠 50 μ g	メプチンミニ錠 25 μ g に変更
ポビドンヨード外用液 10%「VTRS」	製造中止 ポビドンヨード消毒液 10%「ケンエー」に変更
コロネル細粒 83.3%	製造中止 ポリフル細粒 83.3%に変更
ヘパリン Na ロック用 100 単位/mL シリンジ「オーツカ」10mL	供給制限 ヘパフラッシュ 100 単位/mL シリンジ 10mL に変更
ワゴスチグミン注 0.5mg	使用実績なし
トレドミン錠 25mg	使用患者退院
硫酸ストレプトマイシン注射用 1g「明治」	経過措置によりストレプトマイシン硫酸塩注射用 1g「明治」に変更
ブリディオン静注 200mg	スガマデクス静注液 200mg「マルイシ」に変更
エスラックス静注 50mg/5.0mL	ロクロニウム臭化物静注液 50mg/5.0mL「マルイシ」に変更
イリノテカン塩酸塩点滴静注液 40mg「SUN」	イリノテカン塩酸塩点滴静注液 40mg「NK」に変更
イリノテカン塩酸塩点滴静注液 100mg「SUN」	イリノテカン塩酸塩点滴静注液 100mg「NK」に変更
ドセタキセル点滴静注 20mg/1mL「ヤクルト」	ドセタキセル点滴静注 20mg/1mL「ニプロ」に変更
ドセタキセル点滴静注 80mg/4mL「ヤクルト」	ドセタキセル点滴静注 80mg/4mL「ニプロ」に変更
ティーエスワン配合 OD 錠 T20	エスワンタイホウ配合 OD 錠 T20 に変更
ティーエスワン配合 OD 錠 T25	エスワンタイホウ配合 OD 錠 T25 に変更
アボルブカプセル 0.5mg	デュタステリド錠 0.5mgAV「NS」に変更
アルダクトン A 錠 25mg	スピロラクトン錠 25mg「日医工」に変更
トラムセット配合錠	トアラセット配合錠「三笠」に変更
プロマック D 錠 75	ポラプレジック OD 錠 75mg「サワイ」に変更
レニベース錠 2.5	エナラプリルマレイン酸塩錠 2.5mg「サワイ」に変更
レニベース錠 5	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg「サワイ」に変更
レンドルミン D 錠 0.25mg	ブロチゾラム OD 錠 0.25mg「テバ」に変更
ロキソニン錠 60mg	ロキソプロフェンナトリウム錠 60mg「日医工」に変更
ヒルドイドソフト軟膏 0.3%	ヘパリン類似物質油性クリーム 0.3%「日医工」に変更
ヒルドイドローション 0.3%	ヘパリン類似物質ローション 0.3%「日医工」に変更

8) がん化学療法レジメン追加について

なし

9) その他

なし

10) 効能効果等の改訂のお知らせ (2024.6～2024.8)

ジーラスタ皮下注 3.6mg	自家末梢血幹細胞移植のための造血幹細胞の末梢血中への動員に対する効能等追加
レルベア 100 エリプタ 30 吸入用	気管支喘息(吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入 β 2 刺激剤の併用が必要な場合)に対する小児の用法等追加
トルリシティ皮下注 0.75mg アテオス	2 型糖尿病に対する用法等追加
セルセプトカプセル 250	全身性強皮症に伴う間質性肺疾患に対する効能等追加
ヌーカラ皮下注 100mg ペン	鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎(既存治療で効果不十分な患者に限る)に対する効能等追加

11) 禁忌・併用禁忌・使用上の注意の改訂のお知らせ (2024.6～2024.8)

ブイフェンド	【禁忌】「フィネレノンを投与中の患者」追記 【併用禁忌】「フィネレノン」追記
ケレンディア (フィネレノン)	【禁忌】「ボサコナゾール、ボリコナゾールを投与中の患者」追記 【併用禁忌】「ボサコナゾール、ボリコナゾール」追記
アイファガン点眼、アイラミド点眼	【重要な基本的注意】「角膜混濁に関する注意喚起」追記 【重大な副作用(新設)】「角膜混濁」追記
タキゾール	【効能又は効果に関連する注意】子宮体癌の項:「術後補助化学療法における有効性及び安全性は確立していない旨」削除
ドセタキセル	【効能又は効果に関連する注意】子宮体癌の項:「術後補助化学療法における有効性及び安全性は確立していない旨」削除
ダーブロック	【特定の背景を有する患者に関する注意】合併症・既往歴等のある患者の項:「心不全又はその既往歴のある患者」追記
ネイリン	【併用注意】「アゼルニジピン」追記
パルモディア、パルモディア XR	【重大な副作用】「肝機能障害、黄疸」追記
カルブロック	【禁忌】「ボサコナゾールを投与中の患者」追記 【併用禁忌】「ボサコナゾール」追記 【併用注意】「アゾール系抗真菌剤(併用禁忌の薬剤を除く)ホスラブコナゾール等」追記
タリージェ	【重大な副作用】「腎機能障害」追記
デパケン、デパケン R、バルプロ酸 Na	【臨床使用に基づく情報】「父親曝露による児における神経発達症の発症に関する情報」追記

12) 院内副作用報告 (2024.6～2024.8)

【当院処方事例のみ記載】

セレコックス	皮疹
セフトリアキソン Na	皮疹
アストミン	蕁麻疹、掻痒
アリナミン F 錠	紅斑